

KJブランド創出プロジェクト

—No.48 川島町—

【事業の目的】

町の基幹産業である農業について、農産物や加工品等地域資源を活用したブランド化や6次産業化を推進することにより、町の農業を再創生することが目的です。農業所得を向上させ、就農支援や農業法人等による働き方改革を組み合わせることにより、若者にとって農業を魅力的な職業とすること目指し、担い手の確保を図ります。また、6次産業化による2次・3次産業分野における雇用の創出も図っていきます。魅力ある農業を確立することにより、農村地域における若者の人口流出を防ぎ、U・I・Jターンによる人口の流入を促し、若者による活気に満ちた魅力的なまちづくりを進めます。

【事業の内容】

町の農産物等の地域資源を活用し、「KJブランド」を確立し、全国ブランドとなるような商品の創出を目指すことにより、農業所得の向上に取り組みます。また、農業法人等による「地域農業再創生拠点」を核としたKJブランドとなる農産物や6次産業化による加工品等の生産、販売体制を構築、積極的な情報発信を図り、「稼げる農業」の仕組みを構築します。さらに、ブランド力のある商品づくりをとおして、若者にとって魅力ある農業を確立し、若者の定住化を図るとともに、農業を生かして町全体の活性化を図るものです。

【事業年度】

平成 28 年度～平成 30 年度

【予算額(千円)】

22,831千円(平成29年度)

【財源】

地方創生推進交付金(国)

【事業実施に至った背景・経緯】

本町は平成 12 年以降、少子高齢化に伴う人口減少が続いており、平成 27 年の人口 20,788 人（国勢調査）は、国立社会保障・人口問題研究所の算出した推計値 21,255 人より 467 人減となっており、人口減少が加速しています。また、町の基幹産業である農業は、農業所得の低さや農業経営の不安定さから、後継者不足が深刻化、農家の高齢化が進み、優れた田園環境の維持が難しくなっており、生産力の低下が見られ、担い手の確保が必要となっていました。

さらに、町の農産物や観光スポット等の知名度の低さから、町の魅力の効果的な発信が課題であったことを踏まえ、「KJブランド創出プロジェクト」を推進することとなりました。

【事業のPRポイント】

- 町、農業生産者、JA、商工会、企業、大学（女子栄養大）と連携した「KJブランド」認証制度を活用し、一体的かつ効果的なプロモーション活動を図っています。
- 町のマッチングによる農業生産者、JA、食品関連企業等の協働により、新たな商品開発やブランド力の向上、生産・加工・販売（6次産業化）を実施し、農業法人等の設立を目指します。
- 「KJブランド」認証制度を活用による農業・観光・商工分野の一体的なPRにより、町全体の活性化につなげます。
- 新規就農者や6次産業化プランナー等専門家養成を通じて、町の農業を再創生する新たなリーダーの育成事業等に取り組みます。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成 28 年度に地域資源魅力発掘調査、タウンプロモーション業務を実施しました。具体的には、「Web 調査や関係者への意識調査、モニターツアーの実施による魅力発掘調査」「るるぶ特別編集『川島町』の発行」「KJブランド戦略の策定」です。今後は、「生鮮品や加工品のブランド認証制度の導入」「KJブランド応援団や観光案内人の設置」を図っていきます。

【参考資料】

[KJブランド戦略](#)（川島町ホームページを御覧ください）

〔 連絡先 〕

政策推進課 政策・財政グループ 049（299）1752（直通）